

<会長挨拶> 時 準雄 会長

今日は高橋先生よりIACの活動内容を報告して頂きます。先日、仕事で千葉県の松戸に行って参りました。関東の方々、駅から駅へと良く歩いており、足腰が丈夫になり長生きするんだろうと感じました。さて、先週は国際奉仕委員会の中嶋委員長の下、オイスカさん主催の植樹祭に参加し黒松を植えて参りました。ご参加された皆様有り難うございました。

<会務報告> 三浦 一 幹事

仙台RC様より 在仙11RC5月合同幹事会議事録拝受
仙台北RC様より 創立60周年記念誌拝受

<委員会報告> 中嶋 均 国際奉仕委員長

RI会長方針で、ロータリアン一人一人が1本の木を植えようと呼び掛けておりました。そこで、先般お知らせしました通り、5月19日(土)公益財団法人オイスカさん主催の名取海岸林再生プロジェクトの植樹祭に、会長幹事はじめ5人で参加し、穴を掘り、そして植えるという作業を繰り返し、一人20本は植えたと思いますが、当クラブメンバー分の黒松の苗木を植えて参りましたのでご報告させていただきます。

<三浦宏喜会員挨拶> 母の葬儀に際しましては、クラブを始めとして、皆様より身に余るご厚情を賜り有り難うございます。賑やかに皆様より見送られ、成仏できたと思います。本当に有り難うございませう。

<卓 話>

IAC活動紹介

明成高等学校IAC 顧問 高橋信壮 氏

明成高等学校IACは発足から今年度で12年目を迎えます。この間、皆様より多大なご支援を頂きお礼申し上げます。12年経ちましたので18歳だった子はもう30歳です。設立当初から食を通じた地域への活動をして参りました。生徒は本当に成長し、IACの活動が彼らの人生に、何か活かされたたのではと確信しております。また、これからどういう未来描いていけば良いか考えております。



みんなの白菜物語プロジェクト

白菜の故郷浦戸諸島。野々島は採種だけの地。交雑しないためにと先人が考えました。仙台白菜の歴史は明治時代の日清・日露戦争後、兵士らが中国から白菜の種を持ち帰ったのが始まりだったようです。大正時代になって松島湾の浦戸諸島で採種に成功、「松島白菜」という品種が誕生。

大正13年に「松島純二号」、昭和18年に「松島新二号」の優良品種が生まれ、「仙台白菜」の名で全国に出荷されました。明成高校では、在校生や卒業生らの地域活動の拠点の「リエゾンキッチン」をつくり、地域貢献活動として「みんなの白菜物語プロジェクト」で、みやぎ発祥の伝統野菜「仙台白菜」の普及に向けた取り組みを行っております。

津波で被災した白菜の採種圃場の再耕



2011.12撮影 浦戸野々島

2017.8 長野文化学園中学高等学校二校のみなさんとの交流採取用白菜種子の播種

東日本大震災後からの、浦戸野々島での白菜の採取文化保温活動。第2600地区(長野)三校IACとの食文化交流



しゅんぎくプロジェクト

東日本大震災を乗り越え、復活しつつある巨理町特産の春菊をもっと多くの人に味わってほしい思いを胸に、JA全農みやぎ、JAみやぎ巨理、明成高等学校が協力し、2017年9月に「しゅんぎくプロジェクトがスタート」。2018年2月にはオリジナルレシピを考え、カレーからスイーツまで、その調理の幅広さには生産者の皆様には消費拡大への手ごたえと感じたようです。

生徒さんの作った 春菊のパンケーキを頂きました。有り難うございました。

<ゲ ス ト> 明成高等学校イアンターアクトクラブ顧問 高橋信壮様

<ニコニコBOX>

時 準雄会長 高橋先生の卓話を頂き誠に有り難うございます。今後とも宜しくお願い致します。
菅野耕吉会員 今日もありある会になる事を願って。
菅野 忍会員 高橋先生 本日はお忙しい中有り難うございました。
三浦宏喜会員 先日は母親の葬儀に際し、身に余るご厚情を賜り誠に有り難うございました。
以下同意文にて 市川・及川・大垣・大川・奥村・加藤・鎌田(善)・萱場・菅野(耕)・菅野忍・菊地・木村
斎藤(文)・斎藤(正)・沢崎・菅原(貫)・菅原(裕)・鷺見・高橋・時・中嶋・中村・藤岡
前田・三浦一・額岸・横田(吉)・鷺尾(広) 各会員 今回36,000円 今年度累計 1,410,000円